



11月号  
(第406号)

武庫川女子大学  
附属中学校・高等学校  
総務部



『SPY × FAMILY』——心たちの契約を——

アカデミア探究部長 野津義輝

ここしばらく、アニメを熱中して見たことがなかった。話題となった『鬼滅の刃』ですらまともに見たことがなかったので、榎垣子(ねぐさこ)が口にネギをくわえているものと勘違いして、「ねぎこ」と言っていて中学生に笑われた。

そんな私が今年、『SPY × FAMILY』というアニメにハマった。話の大筋はスパイである主人公のロイド・フォージャーが、世界の平和のために与えられたミッションを遂行するため、かりそめの家族を急造し、活躍するという荒唐無稽な物語だ。妻役となるヨルは表向きは市役所の事務職員だが裏の顔は殺し屋、娘役のアーニャは人の心が読める超能力者という設定だ。年甲斐もなくアニメに熱中していたのだが、ふと感じることがあった。それは三人の言葉遣いだ。三人の言葉遣いが私にはとても心地よく聞こえる。台詞は、普通の会話で成立していて、特別というわけでもない。お互い素性を隠し、かりそめの「家族」を保つためかもしれないが、相手を思う心遣いを言葉から感じる。

ネットやテレビを見れば、家族にまつわる悲しい事件が時々、目に飛び込んでくる。多少のいざこざなら、どの家族にもあるだろうが、悲惨な事件に暗澹たる思いになる。私がこのアニメに惹かれるのは、生い立ちの違い、赤の他人の三人が「家族」を一から作り上げようとする過程や努力、そして、かりそめの「家族」を守ろうとする姿に、心を揺さぶられたからかもしれない。

学校は大きな一つのファミリーと思っている。星野源が歌うエンディングテーマ『喜劇』の歌詞に「あの日交わした血より勝る心たちの契約を」という一節がある。他人同士であっても心と心がつながれば家族と同じように強い絆で結ばれると、この歌詞を自分なりに解釈している。ロイド・フォージャーはスパイである。自分の感情よりミッションの遂行を優先しなければならぬ。しかし、時に心でつながった「家族」を優先している。相手を心から大切に思うからだ。それはヨルもアーニャも同じである。私たちはアーニャのように人の心が読めない。読めないからこそ想像力を働かせ、相手を気遣う言葉がけや行動が大切であると思う。些細なことの積み重ねがやがて「家族」のような強い絆になるものと信じている。

この原稿が載る頃は、『SPY × FAMILY』の第二クールの真っ最中だ。私にとってアーニャの口癖である「ワクワク」が始まっている。「ワクワク」することは人生を豊かにするものであると信じている。学校が皆さんの人生にとって「ワクワク」する場であってほしい。居心地のよい暖かな家庭のような場であってほしい。武庫川がいつまでもそのような学校であってほしいと願っている。

第三十八回武庫川学院英語オラトリカルコンテスト

十一月十二日(土)に本校図書館棟四階AV1教室で、第三十八回武庫川学院英語オラトリカルコンテストが開催されました。

コロナウイルス感染症の影響を受け、二年間中高と大学に分かれて開催していましたが、三年ぶりに中高大合同で開催することができました。

中学の部(暗唱)

優勝 前原 凜子(中3)

準優勝 鬼頭 咲良(中2)

高校の部(スピーチ)

優勝 元浦 綺花(高2)

準優勝 平岡ひなの(高3)



The Winner of Junior High School Division  
Riko MAEHARA (9<sup>th</sup> grade)

This was my second time to participate in the Oratorical Contest. Two years ago, when I participated for the first time, it was a really difficult experience for me. I couldn't memorize the whole script. This time, I still struggled to memorize Emma Watson's speech. I got frustrated many times. However, I did it! My teachers and friends were always encouraging me. As a result, I won first place. I realize that this was not only my performance, and I would like to thank everyone for all their support.



The Winner of High School Division  
Ayaka MOTOURA (11<sup>th</sup> grade)

I'm very happy to win first place at the 38<sup>th</sup> Oratorical Contest. The moment I heard the result, I couldn't believe it was true. It is difficult for me to evaluate my own performance. However, I am sure that this experience will help me in the future. I appreciate my teachers' help and want to thank all my friends for supporting me!



令和四年度 公江特待生交付書伝達式

十月二十六日(水)に公江特待生交付書伝達式が行われました。

公江特待生とは、武庫川学院の創設者である故公江喜市郎先生の篤志を基金として定められた制度であり、学力優秀、品行方正、全校生徒の模範である者にのみ与えられるとても榮譽あるものです。

今年度は中学生三名、高校生六名が選ばれました。今後ますます学業に専心、研鑽し、全校生徒の模範として、勉学に一層いそむことが期待されます。



高校生によるサイクルサミットin甲子園

十一月十二日(土)に、甲子園球場の南側にできた甲子園プラスの多目的ホールで甲子園警察署管内の五校が参加して開催されました。本校からは風紀委員会の六人のメンバーである永野さん(高2)、門田さん(高2)、金井さん(高2)、助野さん(高2)、栗田さん(高1)、櫻城さん(高1)が「意外と知らない自転車マナー」というタイトルでパワーポイントを使ってプレゼンテーションを行いました。



校内でアンケート調査をしたり、通学路の観察をしたりして、自転車事故を防ぐためには自転車のマナーを徹底させることが大切だと呼びかけました。学校外で、しかも関係者だけでなく、一般の方々や新聞社、テレビカメラがある中での発表はとても緊張したようですが、良い経験になったと思います。

